

活動名	団体名	音楽療法グループ ピリカ
障がい児・者を対象とした、音楽療法グループ “ピリカ”	地域	広島県広島市
	代表者	石井 明子
	支援金額	20 万円
活動概要		
<p>様々な障がいを抱える子ども達に、より良い療育を提供するために、2000年に自主グループを立ち上げる。「音楽療法とは、音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上に向けて、意図的、計画的に活用して行われる治療的、教育的技法である」の定義に基づき、対象者一人一人に応じた療育を行うことを目的としている。</p> <p>単に歌を歌ったり音楽を聴いたりといったこととは違い、障がい特性、知的レベル（発達年齢）、成長段階を細やかに分析し、利用者各々の計画書を作成した上で、個々のニーズに合わせた音楽療法を提供し、発達の支援を行っている。</p>		
◆実施時期		
毎週火・土曜日の10時～18時迄		
場所：児童デイサービスや病院の一室		
◆参加人数		
小学生以下3名、小学生16名、小学生以上11名		
月2回（年24回）療育をおこなっている。		
参加総人員：720名		



個人セッションの様子①



個人セッションの様子②



小学生のグループでのセッションの様子



余暇を楽しむ若者達

◆実施に伴う効果

各々の障がい特性や発達年齢に合わせた療育目標を掲げ、スモールステップで“出来ること”を増やしていくように働きかけていったことで、子ども達は各々成長していくことが出来たと思われる。また、楽器をたくさん購入したことで、活動のバリエーションが広がり、より良い音楽療法の効果を得られたと感じている。

◆苦勞した点

当グループは、児童・成人を対象とした音楽療法グループを立ち上げ、15年以上が経過した。幅広い年齢層に対応できる多様な楽器を購入することが1つの課題だったが、助成金のおかげで予算面の確保が出来た。

現在スタッフ3名、頻度週2回という限られた環境の中で活動していることに加え、長期継続利用者が多いという現状から、活動の規模を広げていくには限界があるため、外部へのPRは、主に口コミと場所を提供して頂いている事業所のホームページに留めている。

◆今後の課題・発展の方向性

今後の課題

- ・会員会費で経費とスタッフ3名分の給与を賄っているため、出費項目（楽器・遊具・教具費・研鑽費等）によっては、スタッフが自分持ちで工面しているといった現状がある。
- ・音楽療法士を目指す者が少なく、後継者の育成が難しい。

発展の方向性

- ・高額な楽器や新奇性のある楽器の複数購入を通して、活動やアプローチのバリエーションを広げ、音楽療法の効果をより高めていく。
- ・障がいのある子どもを育てるにあたり、保護者のストレスが高い場合が多いため、保護者支援に一層力を入れていく。
- ・学会や勉強会の参加を継続し、スタッフの自己啓発と音楽療法士のネットワークを広げていく。

◆活動を終えての感想・意見等

頂いた支援金は主に会場費、教具・楽器の購入に使用させて頂きました。子ども達の療育や成人の余暇活動の発展に努力し、幅広い年齢層の利用者たちにとって、より充実した「居場所」「時間」を提供することが出来ました。また、助成金を頂いたことによりマツダ財団の信用も加わり、より充実した活動を行うことが出来ました。

活動はまだ終わっておらず、来年度へと受け継がれます。引き続き自己研鑽し、利用者各々のニーズに沿った支援が行えるよう努力していきたいと思っております。

この度は、ありがとうございました。